

題名 広島平和記念式典派遣事業に参加して考えたこと

鹿沼市立板荷中学校 (氏名) 阿部 圭将



僕はこの事業に参加し、原子爆弾の恐ろしさや当時の生活の辛さなどを詳しく知ることができました。原爆ドームを見た時は目を逸らしたいと思うような悲惨さを感じました。当時の被害を物語っているようでとても感慨深い体験でした。また、平和記念資料館を見て回った時には、放射能で苦しみながら亡くなってしまった人々の写真があり、もし自分が同じような状態になったらと思うと、原子爆弾は絶対にこの世に存在してはならないと思いました。この悲劇を繰り返さないためにできることは今の自分には限られています。だから、今はこの事業を通して学んだことをたくさんの人に伝えられるようにしていきたいです。今僕たちは、何不自由なく平和に暮らせています。この平和がこれからもずっと続くように、そして世界の多くの人が幸せになれるように心から願っています。